

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

平成22年「世界自閉症啓発デー」を迎えるに当たり、メッセージをお送りします。

国連において制定された世界自閉症啓発デーも第3回目を迎え、本年も自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に、国民の皆様と共に取り組むことができますことを喜ばしく思います。

幼稚園、小・中学校、さらに高等学校等では、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたちが在籍しております。

文部科学省としても、このような発達障害のある子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、教育、福祉、医療、労働等の関係機関が連携した特別支援教育の体制整備を進めているところです。

この「世界自閉症啓発デー」を契機に、すべての教育関係者が、保護者の方々と十分な信頼関係の下に、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたちが自分の持つ能力を存分に発揮できるよう、一人一人の子どもたちを慈しみ育てる視点を再確認し、実践につなげていただきたいと強く願います。

文部科学省としても国民の皆様と共に、すべての子どもたちが生き生きと充実した学校生活を送ることができるよう、より一層の努力をしまいたします。

平成22年4月2日

文 部 科 学 大 臣

川 端 達 夫